

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度:令和5年度)

政策	2 農林水産戦略			
目指す姿	1 農業の食糧供給力の強化			
施策の方向性	② 持続可能で効率的な生産体制づくり			
事業名	化学肥料低減機械等導入支援事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	農林水産部	課室名	水田総合利用課	
チーム名	土壌・環境対策チーム			

1 事業実施の背景及び目的

化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇し、肥料価格が高止まりしていることから、海外原料に依存している化学肥料の低減や堆肥等の国内資源の活用を進めるため、施肥低減や堆肥の利活用につながる機械等の導入に対し支援する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	令和4年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	化学肥料低減機械等導入支援事業	化学肥料の使用低減や、堆肥の利活用につながる機械等の導入に対し支援する。	70,000		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	70,000	0	0
国庫補助金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		70,000		
県債					
その他					
一般財源			0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	化学肥料の2割以上の使用低減を目指す計画の策定件数(件)【業績指標】									
指標式	事業計画の策定件数									
出典	水田総合利用課調べ									
把握時期	当該年度2月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								25		
実績b										
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	2 農林水産戦略			
目指す姿	1 農業の食料供給力の強化			
施策の方向性	③ マーケットに対応した複合型生産構造への転換			
事業名	食肉・食鳥処理施設緊急環境整備事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課	
チーム名	調整・畜政・経済チーム			

1 事業実施の背景及び目的

コロナ禍における電気料金や燃料等の価格高騰の影響を受けている食肉・食鳥処理事業者の負担軽減を図るため、省エネルギー化や効率化、高品質化に向けた機械・設備等の整備を支援し、もって県産食肉の円滑な流通に資することを目的とする。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	令和4年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	食肉・食鳥処理施設緊急 環境整備事業	食肉・食鳥処理事業者に対し、省エネルギー化や効率化、高品質化に向けた機械・設備等の整備を支援する。	100,000		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	100,000	0	0
国庫補助金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		100,000		
県債					
その他					
一般財源			0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	県内での肉豚と畜頭数(頭)【成果指標】									
指標式	県内と畜場の肉豚と畜頭数の合計									
出典	県内と畜場の事業報告書									
把握時期	翌年度7月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								305,000		
実績b							305,455			
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名	比内地鶏生産羽数(千羽)【成果指標】									
指標式	比内地鶏生産羽数(1～12月実績)									
出典	畜産振興課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								430		
実績b							401			
b/a								0.0%		

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	2 農林水産戦略			
目指す姿	1 農業の食料供給力の強化			
施策の方向性	③ マーケットに対応した複合型生産構造への転換			
事業名	畜産経営維持緊急支援事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課	
チーム名	調整・畜政・経済チーム、生産振興チーム			

1 事業実施の背景及び目的

配合飼料価格等の高騰により収益力が低下している畜産経営体に対し、再生産に必要な素畜導入や高品質生産等の取組を支援し、経営の安定化を図ることで本県畜産の生産基盤を維持する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	令和4年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	中小家畜経営安定緊急対策事業	養豚・養鶏経営における再生産を図るため、素畜の導入や衛生対策の取組を支援する。	371,390		
2	肉用牛肥育経営安定緊急対策事業	肉用牛肥育経営体が生産基盤を維持できるよう、再生産に必要な素畜導入を支援する。	123,000		
3	肉用牛繁殖経営安定緊急対策事業	相場の影響を受けにくい発育良好で高品質な子牛出荷の取組を支援する。	114,000		
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			608,390	0	0
左の説明					
国庫補助金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		608,390		
県債					
その他					
一般財源			0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	秋田牛の出荷頭数(頭)【成果指標】									
指標式	秋田牛の出荷頭数									
出典	畜産振興課調べ									
把握時期	翌年度5月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								3,203		
実績b							2,972			
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名	母豚飼養頭数(頭)【成果指標】									
指標式	母豚飼養頭数(各年2月1日現在)									
出典	畜産振興課調べ									
把握時期	翌年度5月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								28,940		
実績b							28,611			
b/a								0.0%		

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	2 農林水産戦略			
目指す姿	1 農業の食料供給力の強化			
施策の方向性	③ マーケットに対応した複合型生産構造への転換			
事業名	酪農経営安定緊急対策事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課	
チーム名	生産振興チーム			

1 事業実施の背景及び目的

飼料価格高騰等の影響により、酪農経営の収益性が著しく悪化しているため、経営維持・再生産に向け、高品質な生乳生産や集乳運賃の掛かり増し経費に対して助成するほか、性判別精液を活用した効率的な後継牛確保や受精卵移植による和牛生産を支援する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

事業内訳	概要	令和5年度 予算額	令和4年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1 高品質な生乳生産支援	乳質成績で減額されない高品質な生乳生産の取組を支援する。	109,200		
2 集乳運賃支援	燃油高騰等により生産者負担が増加している集乳運賃に対し助成する。	7,600		
3 後継牛確保・受精卵移植支援	性判別精液の活用による効率的な後継牛確保を支援するとともに、和牛の受精卵移植を支援し、酪農経営の安定化を図る。	12,920		
4				
5				
その他合計 (件)				
財源内訳	左の説明	129,720	0	0
国庫補助金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	129,720		
県債				
その他				
一般財源		0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	高品質生乳(細菌数10万未満/ml)の出荷割合(%)【成果指標】									
指標式	高品質生乳(細菌数10万未満/ml)の出荷割合									
出典	畜産振興課調べ									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								97.6		
実績b							96.1			
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)